BOSE®

OWNER'S MANUAL

パワーアンプ内蔵スピーカー

メディア・メイト
Media Mate Ⅱ

この度はボーズ「メディア・メイトⅡ」マルチメディア用スピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管しておくことをおすすめします。

取 扱 説 明 書

※説明の便宜上、イラストは原型と異なる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は注意を促す内容を告げるものです。
（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

⚠ 警告	電源プラグをコンセントから抜け	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
		●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	水場での使用禁止	●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	使用禁止	●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
		●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
		●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠警告

通風孔のある機器のみ
●この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。
この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪いところに押し込む。
テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

●この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。
コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

●この機器の通風孔、カセットテープの挿入口、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

分解禁止
●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

⚠注意

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

●万一の事故防止のため、この機器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてください。

●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●お手入れ際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

●お子様がポートに、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

⚠警告		●スピーカーコードの上に重いものをのせたり、コードが製品の下敷きにならないようにしてください。また、壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。スピーカーコードを傷つけて火災の原因となります。
		●スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。
		●スピーカーコードを熱器具の近くや直射日光のあたるところには近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災の原因となります。
		●スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
		●<本製品>を分解したり改造ないでください。破損や火災の原因となります。
		●熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。そのような場所で使用しますと、火災の原因となります。

⚠注意		●ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所は避けて置いてください。また、設置場所の強度は重みに耐えられるものにしてください。落下して、けがや事故の原因となります。
		●スピーカーを高いところに設置される場合には、作業が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。けがや事故の原因となります。
		●定格を超える入力を入れた状態や長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
		●高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。

目　次

安全のために

安全上の留意項目 ……2
特　長……6
本体のお手入れについて ……6
開梱時のご注意（付属品について）……6

名　　称

各部の名称および機能　背面パネル ……7
各部の名称および機能　前面パネル ……7

準　　備

設置例……8
外部機器接続のしかた……8

共 通 操 作

音量調整のしかた ……9
A/B系統の音声ミックスのしかた……9
ヘッドホンを使って楽しむとき……9

そ　の　他

付属品の使い方……10
故障かな?と思ったら ……10
故障の場合のお問い合わせ先 ……11
仕　様……11
保　証……11

特　長

小音量時でもバランスのとれた音を生みだす、“PsychoAcoustically Processed”回路

●人間の耳は音量が小さくなるにしたがって、周波数によって聞こえにくくなる帯域があります。このため、大きな音では自然に聞こえる再生音も、小音量になると周波数ごとの音のバランスが崩れもの足りない音になってしまいます。そんな人間の聴覚を研究し、どんな再生レベルでも聴感上もっとも自然な周波数バランスに聞こえるよう、常に自動的にコントロールします。

低磁束漏洩（シールド方式）

●スピーカーはシールド方式の低磁束漏洩タイプです。コンピュータ・モニターやテレビなどのブラウン管に接近させても色ムラなどが起きにくくなっています。

スペーシャスネス・コントローラー内蔵

●スペーシャスネス・コントローラーにより、本機に入力される信号がモノラル音源であっても奥行きや広がりのある音場空間を再生します。

ソースミキサー内蔵

●2系統の音源を自由にミックスすることができます。コンピュータで作業をしながらBGM代わりに他のオーディオ機器からの音声を楽しむことができます。

2系統の入力端子を装備

●2系統の入力端子を備えていますので、片方の入力をコンピュータの音声出力端子に接続し、もう片方を他のオーディオ機器に接続するなどの使い方ができます。

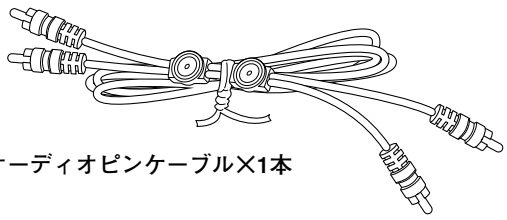
それでは本取扱説明書を良くお読み頂き、メディアメイト・スピーカーを正しくセットしてその性能を存分にお楽しみください。

本体のお手入れについて

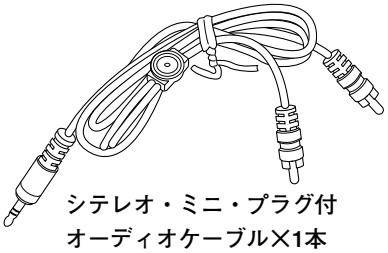
通常は、やわらかい布で乾拭くしてください。汚れがひどいときには、中性洗剤を水で薄めた液にやわらかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり文字が消えたり外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

開梱時の注意

カートンケースとパッキング類は、輸送用として後日使用する場合のために処分せずに保管しておくことをおすすめします。



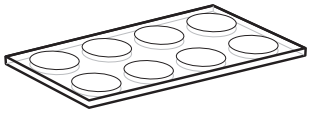
オーディオピンケーブル×1本



シテレオ・ミニ・プラグ付
オーディオケーブル×1本

付属品を確認してください

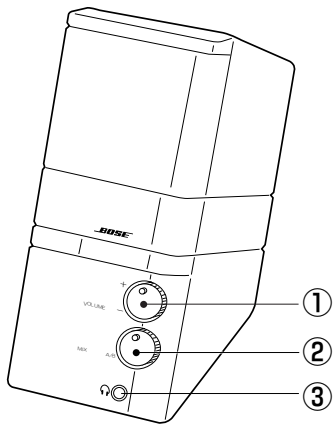
（付属品の使い方は10ページをご参照ください）

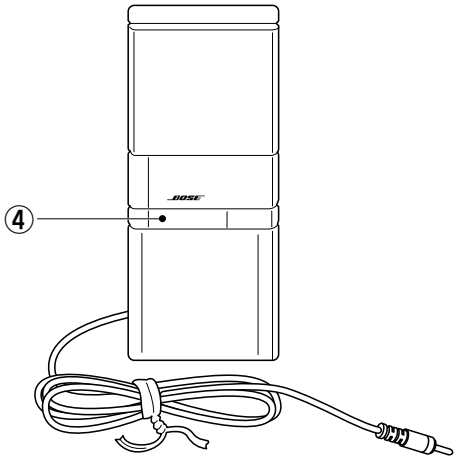


ゴム足×1セット

もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買上になった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。

各部の名称および機能 前面パネル





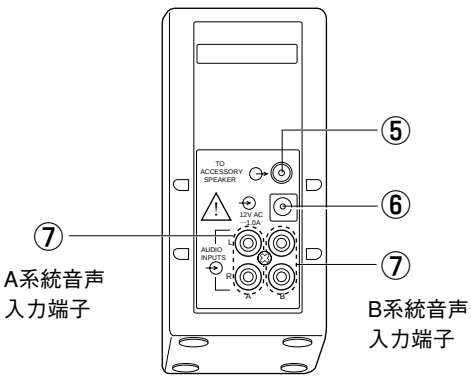
①VOLUME（ボリューム）
時計方向に回すと音が大きくなり反時計方向にまわすと音量が小さくなります。

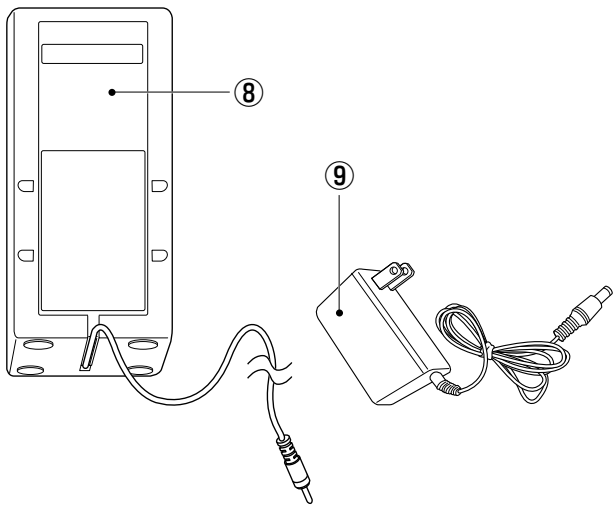
②ソース・ミキサーつまみ
背面入力端子A、Bから入力される音のバランスを調整します。

③ヘッドホン入力端子
φ3.5のステレオミニジャックが装備されています。ここにヘッドホンプラグを差し込むと自動的にスピーカーからの音は止まります。

④ポート
ここの部分から低域の音がでます。ふさがないようにしてください。

各部の名称および機能 背面パネル





⑤アクセサリースピーカー用接続端子
アクセサリースピーカーからのコードをこの端子に接続します。

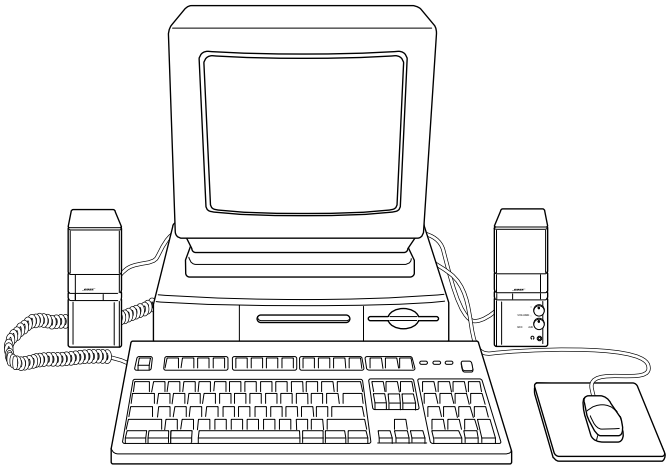
⑥AC12V入力端子
ACパワーパックからのプラグをここに差し込みます。確実に奥まで差し込んでください。

⑦音声信号入力端子
RCAピンジャックの入力端子です。A、B2系統の入力ができます。

⑧アクセサリースピーカー
ステレオで使用する場合の左チャンネル側のスピーカーです。

⑨ACパワーパック
商用電源100V 50Hz/60Hzに接続します。

設　置　例

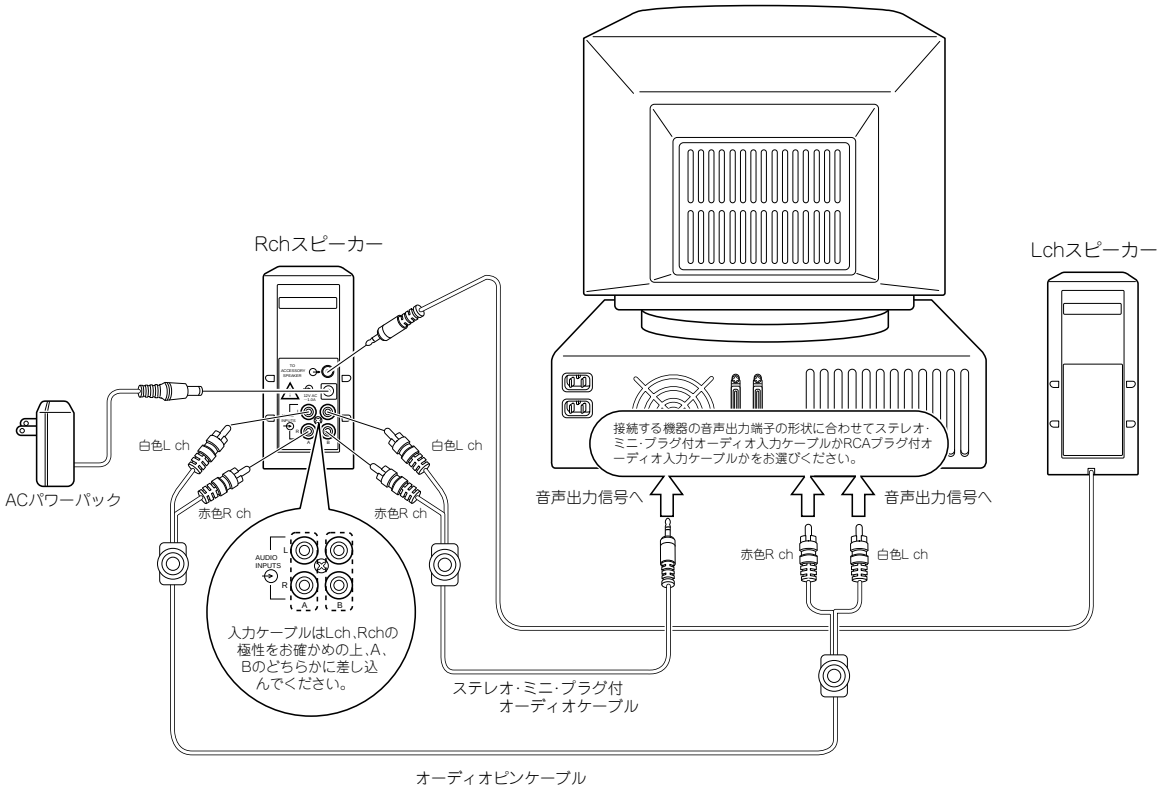


外部機器接続のしかた

※すべての接続が終わるまでは、ACパワーパックをコンセントに差し込まないようにしてください。
※電源を入れる前は、必ず音量調整つまみは、反時計方向に回して最小の位置にしておいてください。

音声信号入力端子に外部機器をつなぐとき

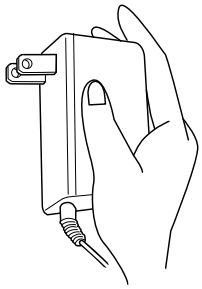
背面パネルの音声信号入力端子にオーディオピンケーブルを使って外部の機器を接続します。



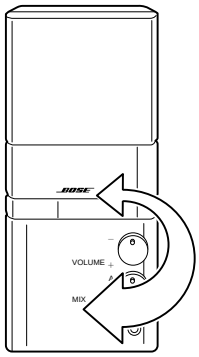
音量調節のしかた

※すべての接続が終わるまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。
※スピーカーコードの接続に間違いがないかもう一度確認してください。
※電源を入れる前は、必ず音量調整つまみは、反時計方向に回して最小の位置にしておいてください。

ACパワーパックをコンセントに差し込みます。

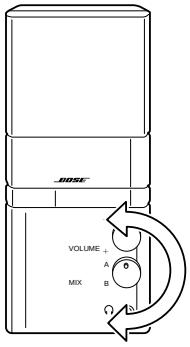


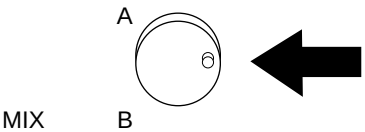
VOLUME（ボリューム）つまみを、時計方向に回すと音が大きくなます。反時計方向に回すと音が小さくなります。



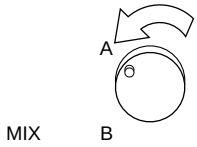
A/B系統の音声ミックスのしかた つまみの位置と音声ミックスのようす

ソース・ミキサーつまみでA系統とB系統の音声をミックスします。

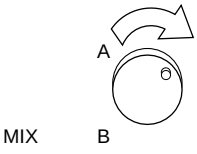




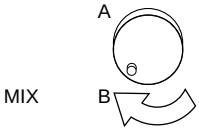
A系統の音声とB系統の音声がほぼ同等に出力されます。
（ただし、A、B共に同レベルの入力があった場合）



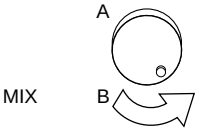
A系統の音声のみになります。



A系統の音声にB系統の音声が加わります。



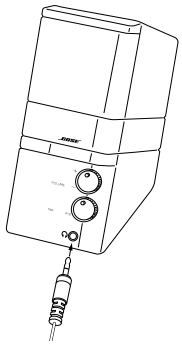
B系統の音声のみになります。



B系統の音声にA系統の音声が加わります。

ヘッドホンを使って楽しむとき

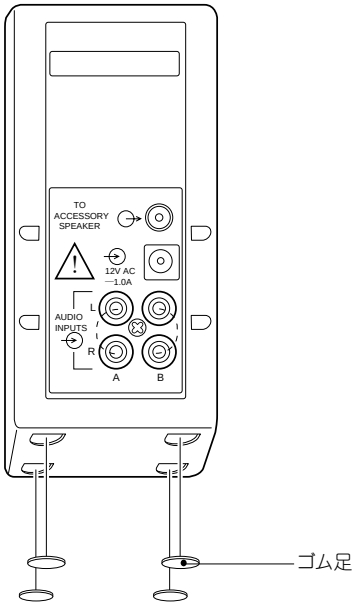
ヘッドホンのジャックを正面パネルのヘッドホン入力端子に挿入してください。ジャックを差し込むと自動的にスピーカーの音が止ります。



※ご注意
ヘッドホンをご使用になるときは、音量にご注意ください。あまり大きな音で長時間ご使用になりますと耳を傷める場合があります。耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

付属品の使い方

メディアメイトⅡを机の上などに置いてご使用になるときは、付属のゴム足を右図のようにはり付けてご使用ください。（アクセサリースピーカーの同様にはり付けます）。



故障かな？と思ったら

症　　状	原　　因	処　　置
音が出ない	接　　続	●接続がすべて適切におこなわれていることを確認してください（P 8ページ）。
	電　　源	●コンセントにAC100Vがきていることを確認してください。 ●ACパワーパックがコンセントに確実に差し込まれていることを確認してください。 ●ACパワーパックとアンプ内蔵スピーカー（Rch）が確実に接続されていることを確認してください。
	信　号　源	●音源の機器から音声信号が出力されていることを確認してください。 ●入力される音声信号が小さすぎないことを確認してください。
	ボリューム設定	●ボリュームのセッティングが低すぎていないか確認してください。
	ヘッドホン	●ヘッドホン・プラグが確実にヘッドホン入力端子につながれていることを確認してください。（9ページ）。
片方のスピーカーしか鳴らない	接　　続	●アクセサリースピーカーからのケーブルが確実にアクセサリースピーカー用接続端子につながられていることを確認してください（7、8ページ）。 ●オーディオピンケーブルあるいはステレオピンケーブルが確実に接続されていることを確認してください。
	モノラル信号	●入力する音声信号を確認して、もしもモノラル（片チャンネルのみ）信号ならばモノラルステレオ交換アダプター等を使用して接続してください。 ※交換アダプターは、市販のものを別途お買い求めください。
音が歪んでいる	ボリューム設定	●入力する音声信号が大きすぎないように調節してください。 ●ボリュームを上げすぎないようにご使用ください。

故障の場合のお問い合わせ先

故障及び修理のお問い合わせは、
ボーズ・サービスセンター株式会社　フリーダイヤル 0120-235-250
住所 〒206-0035　東京都多摩市唐木田1-53-9　唐木田センタービル

製品等のお問い合わせは、
ボーズ株式会社、インフォメーションセンター　☎ 03-5489-0955
までご連絡ください。

仕　様

ユニット構成	57mmフルレンジドライバー×1
定格出力	5W×2（5W/Channel into 4Ω）
入力感度	0.25-2.25V
防磁方式	キャンセリング・マグネット方式
スピーカー端子	モノラルミニジャック 3.5mm（左スピーカー）
電源端子	AC電源コード（6.8mm）
信号入力端子	デュアルRCAジャック（インピーダンス9kΩ）2 組（A/B）
ヘッドフォンジャック	3.5mm ステレオミニジャック（3V rms into 100Ω＞1%THD）
外形寸法	84（W）×188（H）×213（D）mm
質量	0.96 kg（右）、0.82kg（左、スピーカーケーブル含）
付属品	AC電源アダプター、ゴム足

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

BOSE®
Better sound through research®

ボーズ株式会社

http://www.bose.co.jp/

〒150-0044　東京都渋谷区円山町28-3　渋谷ＹＴビル　ＴＥＬ03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

OM-1252
06･05-6K-F･1（I-M）